

タイル絵の作り方

1、タイル工作の材料と道具

用意している物 下地台、タイル（基本、白、黒、赤、青、黄、オレンジ、緑があります。原色などの色が不足しています。みんなでこうかんしあってなかよく使いましょう）、接着剤

必要になる道具 カナヅチ、ペンチ（ニッパー）、軍手、ビニール手袋、カーボン紙、細い棒、布切れ、えんぴつ、ゴーグル等（すべて必要というわけではありませんが、必要なものがあれば持ってきて下さい。）

2、タイル絵の作り方

① 事前準備

申込みをした時点でもう工作教室ははじまっています。当日、作りたい絵を前もって考えてきて下さい。色はある程度のどんな色でもいいように考えて下さい。絵柄、色分けは細かくせず大きめにした方ができ上がりきれいです。サイズは20cm×23cmぐらいです。

② 当日

1、下地台に下書きを写します。

カーボン紙（各自用意してください）
を使って写すと簡単にできます。

2、タイルを砕きます。

飛び散らない様必ずタオルなどをかぶせてカナヅチでたたきます。強くたたくと、細かくなりすぎるので注意しましょう。色別、大きさ別に区別しておく、貼る作業がしやすくなります。なるべく下の気が見えないようにタイルを詰めて入れた方がきれいに仕上がります。

注意！ タイルをそのまま叩くと破片が飛び目に入り大変危険です。また、砕いたタイルの切断面で手を切らないよう気をつけて下さい。

3、接着剤を塗ってタイルを貼ります。

色ごとに下書きに合わせて一度仮並べをします。タイルの向き、すきまを調整して、はじめの方からタイルをうら返して接着剤を塗って貼りつけてゆきます。小さいタイルを貼る時は台に接着剤を塗ります。



タイルの形を整形する時はペンチなどで、端から少しずつ砕いていきます。その時も破片が目に入らないように気をつけて下さい。タイルの表面には、接着剤を付けないように注意します。もし付いたらすぐにぬれたタオルで拭き取ります。取り切れなかったときは乾いてから爪でこすると取れます。

~~~~~

**※当日の作業はここまでです。**

さらに目地材を詰めると完成度が増しますのでご自宅などでやってみてはいかがでしょうか。目地材は、ホームセンターなどで購入できます。

### **1、目地材の詰める**

目地材を水で練ります。その目地材をゴムベラなどで詰めていきます。タイルの接着剤が完全に乾いてないとスれてしまいますので注意して下さい。タイルのすきまの奥までしっかり押し込みます。余分な目地材をならし、水分がなくなるまで待ちます（約10分ぐらい）

### **2、目地材のふき取り**

余分な目地材を、水にひたしかたく絞ったスポンジなどで拭き取ります。横にこすらず、押し込むような感じでスポンジを洗いながら何度もふき取ります。

### **3、仕上げ**

目地材を詰めて20~30分ぐらいで半乾き（白い粉がふいたように）なったらタイルの表面や枠に残っている目地材をぬれた布できれいにふき取ります。最後に乾いたタオルで磨き、完成です。完全に乾くまで（1日）は衝撃などを与えないように注意します。

さらに木の枠に塗ったり、ビーズなどのアクセサリーをつけるなどして自分だけのタイル絵の完成を目指してください！